

景観デザインレビューによる景観形成・まちづくりの支援を行います！

景観デザインレビューの仕組みづくり、実施をお手伝いします！

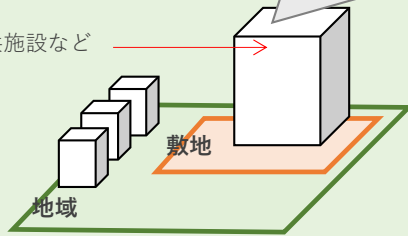
良好な景観形成・まちづくりを目指す自治体の方は、ぜひご応募ください。（実施にかかる費用は基本的に協議会が負担いたします）

※支援主体：「建築等を通じた良好な景観形成・まちづくり推進協議会」の詳細は裏面をご覧ください。

景観形成・まちなみづくりにおいて、
こんな課題や不安はありませんか？

地域の景観や、住環境、イメージ
などに影響を与える（かもしれない）プロジェクト
… 民間開発、公共施設など

地域の価値向上につながる
よう、計画・設計を確実に
進めたい！



景観デザインレビュー
が有効です！

だけど…

- 市内だけでは**専門的な評価**ができない…
- 学識や市民の意見は聴取しているが、**具体的設計**は受託者に委ねるしかない…
- 関係者だけでは、**客観的な評価や案の改善**が難しい…

など…

景観協議の有効な手法として、
景観デザインレビューが注目されています！

◆実施実績：和歌山県白浜町／那須塩原市／茅ヶ崎市 など…



【景観デザインレビューの実施イメージ】

景観デザインレビューとは、
第三者となる経験豊かな専門家の力を借りながら、景観や建物のデザインのレベルを上げるための有効な協議や調整を行う取り組み

- 実務に詳しい専門家による、原案の評価だけでなく、**適切な助言**
- 計画・設計案の「中身」について、事業主体や設計者を交えての、**具体的かつ率直な議論**
- 現地での確認や模型を用いた検討などによって、**実現する空間像**を想定した議論
- 対立する利害を踏まえての、**バランスの取れた解決策**を目指したデザインの助言

など…

景まち協議会による支援イメージ（昨年度実績：3市1町）

事前準備

- 打合せで必要な支援について協議
- 地域や対象プロジェクトに合致する専門家の検討
- 景観デザインレビューの意義、役割の整理
- 当日プログラムの検討
- 仕組み・体制づくりの検討

など

当日運営

- ファシリテーション など
- 意見の取りまとめ など

※上記は例です。対象自治体決定後、自治体の状況に合わせた支援内容について協議・検討を行います。

※モデル事業としての支援のため、**基本的な費用は協議会による負担**を想定しています。

実施後

※仕組み・体制づくりだけでも…

現在は具体化していないが、将来的に景観デザインレビューを実施したいプロジェクトが想定される場合は、仕組み・体制づくりの検討、模擬的なレビューによる課題抽出などの支援を行うことも考えられます。

連絡先：hirasaki@urdi.co.jp（事務局 担当：平嵯）

参考：建築等を通じた良好な景観形成・まちづくり推進協議会のこれまでの取組み

建築等を通じた良好な景観形成・まちづくり推進協議会とは・・・

建築関連団体と地方公共団体の連携のもとに設立された当協議会は、これまで、国土交通省の支援を受けて景観に影響する建物等の設計内容を創作的に議論する景観協議の方式（以下「景観デザインレビュー」という。）について継続的に検討を行い、景観デザインレビューの留意点等をまとめた冊子（「景観デザインレビューのススメ」3部作）を作成するほか、景観デザインレビューに関する各種のイベントを実施し、良好な景観形成・まちづくりの推進に取り組んで参りました。

平成25年度

- 専門家ヒアリングや建築五会を通じた専門家アンケートによる、デザインレビューに対する意向把握
- 国内外のデザインレビュー事例整理
- デザインレビューのあり方のとらまとめ

平成26年度

- モデル地区でのデザインレビュー参画、実際の運営ノウハウの把握
- 国内の景観協議（デザインレビュー）事例実施状況調査
- 景観デザインレビューガイドライン案のとらまとめ

平成27年度

- 景観デザインレビューガイドライン（『景観デザインレビューのススメ』）のとらまとめ
- 国内の景観協議・デザインレビュー事例調査

平成28年度

- 『景観デザインレビューのススメ』の公表
- 景観デザインレビューキャラバン実施（岡山・倉敷、鶴岡）

平成29年度

- 景観協議システムの協議体制・運営手法の事例整理
- 景観デザインレビューキャラバン実施（静岡、福岡）

平成30年度

- 景観協議体制の構築等に関する事例調査
- 景観デザインレビューガイダンス実施（桐生、渋谷）

令和元年度

- 景観デザインレビュー自治体支援実施（3市1町）



デザインレビューガイダンスin桐生

⑤ 当日の進め方を考えましょう

景観デザインレビューの会場は、会議等で良く見られる机の並べ方ではなく、議論が盛り上がるように設定をすることをおすすめします。

議論のまとめ役（座長や委員長）は、とても重要です。当日の議論を活性化させたり、次回の開催に向けて議論を発展させたい場合には、解決してほしい課題を具体的に明示し、その場で設計者や事業者に伝えると効果的です。

議論を盛り上げる設定

- 動きやすい座席
- 全員で共有できる資料
- 空間を示す模型

模型や壁に貼った資料を自由に見るために、参加者が動きやすい座席の配置にすると良いでしょう。

図面などのプレゼンテーション資料を会場の壁に貼ったり、プロジェクターで投影することで、全員で情報を共有することができます。

模型を見ながら進めると、具体的な空間をイメージしながら議論を行うことができます。

18

短い時間の中で効率良く議論が進められるスケジュールを設定しましょう。景観デザインレビューは、1つの案件ごとに1時間半から2時間程度を目安に実施してください。

タイムスケジュールの例

所用時間	内容
15分	景観デザインレビューの趣旨説明 <ul style="list-style-type: none"> ・本日の進め方 ・出席者紹介 ・景観デザインレビューとは
15分	プロジェクト及び周辺の様相説明 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状 ・プロジェクトの対象地の現状 ・論点の確認
45分	プロジェクトの説明 <ul style="list-style-type: none"> ・設計内容や意図の説明 ・論点に対する説明
5分	議論 <ul style="list-style-type: none"> ・論点を踏まえた議論
5分	まとめ・総括

事務局が会議の趣旨や、論点の確認をしましょう

設計者は図面や模型を使用しながら設計内容や意図を説明しましょう

20～23ページのヒントを活用して議論を活性化してください

最後のまとめが大切です！

19

『景観デザインレビューのススメ』